

⑤ 学校教育

市民

- 不登校(ひきこもり)児童については、一之宮地域の「であい塾」で支援を受けられるが、送迎の継続が困難である地域での支援施設の増設を検討してほしい。
- 教育におけるICT機器の早急な配備をお願いしたい。



タブレットによる授業の様子

- であい塾などの支援施設については、子どもたちの人間関係をつくり上げ社会性を育む場となるよう、利便性や機能面の充実といった観点からも議論を深めます。
- 現在、児童生徒に一人1台のタブレット端末の整備が進められていますが、今後、ICT化による指導体制や効果について検証します。

議会

⑥ 公共交通

市民

- 公共交通空白地有償運送により地域公共交通を維持している地域では、高齢化による運転手の不足や過疎化により維持が困難である。
- 高山地域で運行している観光特化型バスを支所地域までつなげられないか。また、アクティビティを含め高山地域と支所地域を結ぶ滞在型観光についての考えは。



- 高齢化や過疎化などの地域課題が進行するなか、公共交通のダイヤや路線の変更、デマンドへの移行、運転手の確保が困難な地域への積極的な支援など、地域の実情に添った運行の在り方が必要と考えており、公共交通体系全体にわたり議論を深めます。
- 高山地域を拠点とし、支所地域や行政の枠を超えた飛騨全域の観光地へのシャトルバスや乗合タクシーの運行といった広域内二次交通の整備が必要であると考えており、サイクルツーリズムの推進などの新たな観光・産業振興策と合わせて調査研究します。

議会

地域別市民意見交換会の開催を受けて

現地視察 ● 荘川福祉センター・荘川の里

令和2年 12月15日

地域別市民意見交換会でのご意見・要望に伴い上記2施設の現地視察を行いました。荘川地域では今後、保小中(保育園から中学校まで)一貫教育とそれに伴う施設整備を進める計画ですが、福祉センターの併設が見送られる中、同施設の老朽化や機能について確認し、管理者等と意見交換をしました。また、荘川の里については改修中の建物も含め現状や利用状況等についても確認しました。今後も文化財の保存と活用の両面から議論を深めます。

